

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		クレールハウス垂水教室		公表日		令和7年3月17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	限られたスペースの中で整理整頓を行いスペースを確保しています。	今後も、整理整頓を行い安心して過ごせるように努めていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	定められた基準の職員を配置しています。 また、人数に応じて増員し安心して過ごせるように努めています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	必要に応じてカーテン等での区切りをしている。視覚的ツールを活用している。出入口がバリアフリーにはなっていません。 構造上難しい為、安全に階段を上り下りしているように見守りを行っています。	引き続き、落ち着いて過ごせる環境作り。 安心して過ごせるように努めていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	清掃・手洗い・手指消毒・室内・玩具等の消毒を行い感染症予防に努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	子どもの様子に柔軟に対応し、個室を使用し落ち着ける環境を作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	支援前の目標設定、振り返りを行い次回の支援やプログラムへ繋がっています。 職員が情報共有できるように掲示するなど工夫しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティング等で、話し合う機会を設けています。 ガイドラインアンケートの実施を行い率直なご意見を頂いています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々のミーティング等や月1回のミーティングで、話し合う機会を設け意見交換を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	神戸市の運営指導を受け、業務の改善につなげています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	機会を見つけ積極的に参加しています。 定められた研修は実施しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	今年度よりホームページにて公表。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントの際、ニーズを聞き取り、職員間でのミーティングで話し合った上で計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	ミーティングを行い課題や目標、支援方法等の意見を出し合い、支援の方向性を検討しています。		
	14	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	計画や決定事項はその都度、ミーティングや掲示をし情報共有しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートの活用。 日々の記録を残し、子どもの発達状況・成長等の把握に努めています。	ツールを活用したアセスメントを検討しています。	
	16	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービス計画の「児童発達支援の提供すべき支援」「放課後等デイサービスの提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個別支援計画との関連性やねらい・支援内容を設定し支援しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	活動担当を月毎・曜日ごとに変えています。 職員全体で活動内容を確認したり意見を出し合ったりして、プログラムの充実を図っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	お子様の成長段階に応じたプログラム構成を行っています。 利用日は、5領域のプログラムが受けれるように計画しています。	リトミックを導入し保護者様やお子様が好きになる姿を拝見し、今後も新たな取り組みを検討していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	集団活動・個別活動を組み合わせた支援を主としています。 個々の対応や支援方法が異なる為、こどもの状況に応じて支援しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	その日のリーダーが「ねらい」や活動の流れ等を他の職員へ周知し共有。 役割分担についてはリーダーが伝え、確認を行っています。		

21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	送迎終了後等に、1日の振り返りを行っている。	出来ている時とそうでない時がある為、定着を目指していきます。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	連絡帳や業務日誌に記入して記録を残し、支援等に活用しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的なモニタリングに加え、必要に応じてモニタリングを行っています。	
24	(放課後等デイサービスのみのみ) 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援をおこなっているか。	100%	0%	放課後等デイサービスガイドラインに沿って支援内容を設定しています。	
25	(放課後等デイサービスのみのみ) 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援をおこなっているか。	100%	0%	日常生活・活動等、事業所で過ごすさまざまな場面で、自分で選ぶ・自分で決める「自己選択・自己決定」の機会を作り支援を行っています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	関係機関との連携については、児童発達支援管理責任者と保育士や児童指導員が参加し連携を行っています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	神戸市・区役所や学校・園と連携を図っています。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	小学校・保護者と連携し、情報共有・連絡調整等を行っています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	児童発達支援事業所と積極的に情報共有しています。	
30	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	円滑な情報交換ができるように、積極的に情報共有をさせて頂いています。	
31	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	円滑な情報交換ができるように、共有をさせていただきます。	
32	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	現在、対象年齢の利用者様は居りません。	必要に応じて、支援内容等の情報提供を行います。
33	(28～30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
34	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
35	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
36	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%	0%	療育センターと連携を図っています。	
37	保育所や認定こども園・幼稚園等・または放課後等児童や児童館との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	17%	83%	地域の公園や施設を利用しています。	地域の学校や保育園等との交流の機会については、検討していきます。
38	(放課後等デイサービスのみのみ) (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%	現在、参加できていません。	情報収集を行い、機会を見つけて参加を検討していきます。
39	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎の際には利用時の様子、自宅での様子・困りごと等を共有。共通理解を持てるように情報共有を行っています。	
40	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	現在、ご家族への研修等は実施できておりませんが、日々情報提供・情報共有等を行っています。	保護者様からのご要望が多数あれば、保護者会等の開催を検討していきます。
41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明を行っています。	
42	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者様や利用児童本人の願いや意向を踏まえ、計画書の提案をさせて頂いています。	

保護者への説明等	43	「児童発達支援計画」「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100 %	0 %	個々に合わせた目標を設定し支援計画を作成、同意を得ています。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100 %	0 %	相談等があった時にはその都度時間を設けています。必要に応じて、面談も行っています。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100 %	0 %	保護者様同士の交流の場を提供できるよう、年2回交流会を開催しています。	
	46	子どもや保護者からの相談・苦情の申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情の申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100 %	0 %	即日対応を心がけています。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100 %	0 %	SNSを活用しながら活動内容を発信しています。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100 %	0 %	書類は鍵付きロッカーで保管し管理を厳重に行うと共に、SNSの写真の取り扱いについても個人情報漏洩に配慮しています。	
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100 %	0 %	伝達手段の1つとして絵カード等を活用し、対応・支援を行っています。保護者様ともこまめに連絡を取り合っています。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0 %	100 %	現在は地域連携等できていません。	今後、交流の場を検討していきます。
非常時等の対応	51	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100 %	0 %	1年間のスケジュールを立てて、定期的に訓練・研修を行っています。	
	52	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100 %	0 %	必要な訓練を、定められた回数行ってあります。	
	53	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100 %	0 %	契約時とフェイスシートにて情報を確認しています。フェイスシートの情報については年度毎に更新しています。	
	54	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0 %	100 %	現在、対象者はいません。契約時に食物アレルギーの把握・対応の確認を行っています。	
	55	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100 %	0 %	必要な訓練を、定められた回数行ってあります。	
	56	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100 %	0 %	フェイスシート・緊急時持ち出しファイルに緊急時の連絡先を記載。不測の事態には保護者へ迅速に連絡できるよう、社内携帯への連絡先登録を行っています。	
	57	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100 %	0 %	業務日誌に記入し、都度共有。月末には書面にて職員全体で共有し、再発防止に努めています。	
	58	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100 %	0 %	毎年二回以上の虐待防止研修を行っています。	
59	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100 %	0 %	該当児童者なし。 該当者が発生場合には行政に確認しながら、同意書の作成、児童や保護者に説明・確認・同意を頂き支援計画に記載します。		